

## 新たな体制と新たな仲間で始動！

今年度、心臓リハビリチームに新入職員を迎え、知識・技術の更新や共有できるように学習を続けております。引き続き多職種・協同の研鑽、患者様の疾病管理を考え、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう活動していきます。



9年目の理学療法士の片山大地です。これまで神経内科、整形外科、循環器内科領域でのリハビリに携わってきました。様々な生活能力の患者様に応じるなかで歩くこと、特に足の重要性を感じています。疾患の特徴を考慮して、多職種の方々と連携したリハビリを提供できるよう真摯に取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

## QOLと心リハ



QOL = Quality of life (クオリティ オブ ライフ) は「生活の質」などと訳され、患者様の身体的な苦痛の軽減、精神的、社会的活動を含めた総合的な活力、生きがい、満足度という意味が含まれます。

心臓リハビリテーションは再発を防止し、QOLを高めることも目的に含まれます。しかし、価値観や感じ方は人それぞれであり、まずは患者様にとって「何が幸せか」を知る必要があります。たとえば「人の役に立つ」ことに幸せを見出していたとしたら、心筋梗塞などで心機能が低下し、いままで出来ていたことが出来なくなった時に人の役に立たないと思ってしまう事は、その人のQOLを大幅に下げることにつながります。心臓リハビリテーションは心機能が低下してもそれぞれの方の心肺機能に合った有酸素運動や筋力トレーニングを継続する事で、疾患を患う前に近い状態まで改善させ、QOL向上が期待できます。その上で人の役に立つこと、出来る範囲の仕事をしたりといった、患者様が幸せを感じる事が出来る環境や状況を作り出すことでQOLは高くなります。



小さなことでもまずはご相談ください。